#### 添田町へのアクセス

#### JR ご利用の場合

- ■JR博多駅からJR彦山駅まで 福北ゆたか線、筑豊本線、後藤寺線、 日田彦山線経由 約1時間35分
- ■JR小倉駅からJR彦山駅まで 日田彦山線経由 約1時間30分

#### 車でお越しの場合

- ■福岡から
- 国道 201 号線経由 約1時間 30分
- ■小倉から 国道 322 号線経由 約1時間 10分



#### お問い合わせ 添田町役場 商工観光係

〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 TEL0947-82-1236

#### まつぐち げつじょう 松口月城 詩碑



【松口月城】(明治20年~昭和56年) 福岡県那珂川町出身。17歳で医術開業試験に 合格、医療の傍ら書道、漢詩などを学びました。 この"英彦山之詩"は91歳のときに詠んだ句です。



### 小坂螢泉 句碑

【小坂螢泉】 (明治42年~平成12年)長崎県出身。 医師の傍ら、野見山朱鳥らに師事。





### まつがい ふう たい し 松養風袋子 句碑



#### (大正2年~昭和63年)元高住神社宮司。 20年間に亘って橡の実句会を主催、 俳句の振興に努めました。 この句碑は橡の実句会結成20周年を 記念して建立されました。

### 12 杉田久女 句碑

【杉田久女】(明治23年~昭和21年) 昭和6年日本新名勝俳句で金賞に輝いた 「谺して山ほととぎすほしいまま」と同時に 応募した作品。こちらは銀賞を受賞しました。



# 高千穂峰女 句碑



御母堂にして俳人。昭和56年11月建立。



### 松尾芭蕉 句碑



ぞの 【松尾芭蕉】 この句は芭蕉が 奥の細道の旅を 終え、門人たちと 別れる時に 詠んだものです。 句碑は芭蕉を 慕う地元の門人、 柏村蛙庵五調と いう俳人が明和 9年(1772年)に 建てたものです。

島校

an ic

狄

0

現 9

Ŕ

31

Z

煤蛤

ふ

R



### 15 松尾芭蕉句碑



天保3年(1832年)、芭蕉を慕う地元の門人、 柏村蛙庵五調の弟子で五世高瀬飄々庵砂水と いう方が建てたものです。 町民会館





探訪マップ



### 高浜年尾 句碑



## ひろせ たんそう **廣瀬淡窓 詩碑**



煙幕末山 散天樓高 鉴去始氤

【廣瀬淡窓】 (天明2年~安政3年) 江戸後期の儒学者で漢詩人、 教育者。日田の生まれ。 この詩は英彦山の絶景と 修験道の崇高な様が描写 されています。

#### すぎ た ひさじょ 杉田久女 句碑



英彦山神宮

1.#

修験道館

花駅より 奉弊殿まで

参道を歩いて 約30分

(明治23年~昭和21年) 鹿児島県出身で女流俳人三指 の一人と言われています。 英彦山には何度も訪れており、 この句は昭和6年日本新名勝 俳句の帝国風景院賞金賞を 受け俳壇の話題になりました。

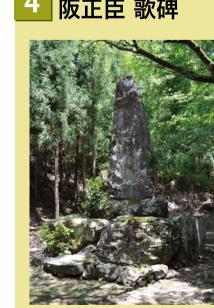
4

奉弊殿より

参道駅

石段を上って





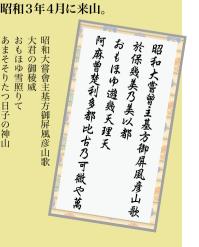
## 阪正臣 歌碑



#### 【阪正臣】 (安政2年~昭和6年) 愛知県生まれの歌人であり 書家としても著名。

山

13



### 青木月斗 句碑



【青木月斗】 0 (明治12年~ 坊 昭和24年) 0 大阪出身で 正岡子規門下の 俳人です。 15 この句碑は る 花見ケ岩に建立 されています。 花見ケ岩からは、 田 かつて「三千の坊」で 哉 栄えた英彦山全体を 見渡すことができます。

9

次

0

つ

冬

9



### こだま なんそう **児玉南草 句碑**

【児玉南草】 (大正11年~平成12年) 大分県出身で俳句雑誌 「地平」主宰。 句碑は創立 25 周年、 通巻 300 号記念として 建立されました。

高千穂峰女 句碑

0

【高千穂峰女】 (明治28年~昭和62年) 元英彦山神宮宮司 高千穂俊麿の夫人です。 杉田久女と交友があり、昭和6年 日本新名勝俳句にて「山伏の屋敷 屋敷や花ふぶき」が入選。



### 種田山頭火 句碑

俳句を作り続けました。

